

安田侃彫刻美術館
アルテピアッツァ美唄
KAN YASUDA SCULPTURE MUSEUM ARTE PIAZZA BIBAI

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄はかつて日本有数の炭鉱都市だった美唄市の山間にある野外彫刻美術館です。美術館には地元出身で国際的に知られるイタリア在住の彫刻家、安田侃の大理石やブロンズの作品40点余が展示されています。炭鉱住宅跡に再生された木々茂る山々や清流に囲まれた空間では、四季の移り変わりを満喫できます。

● 開館時間
水曜日～月曜日
午前9時～午後5時
入館無料(任意によるご寄附をお願いしています)

● 閉館日
毎週火曜日・祝日の翌日
(日曜日は除く)
12月31日～1月3日

● 交通
電車：JR函館本線利用で札幌より35分、
新千歳空港より80分(札幌で乗り換え)。
美唄駅下車、市民バス東線「アルテピアッツァ美唄」
行き乗車。(東明通り経由32分、旭通り経由19分)
車：道央自動車道利用で
札幌JCTより35分。
美唄ICより右折、5分。駐車場有り。

● 定時ガイドツアー
アルテピアッツァ美唄をスタッフがご案内します。
日時：毎週土曜日10時～(約30分) 無料
集合：アートスペース(旧体育館)前
※2019年度は4月27日(土)から11月2日(土)まで。
※天候等により、予告なしに中止する場合があります。

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄
〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137
URL <http://www.artepiazza.jp/>



2018年度
(平成30)

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい
— 活動報告書 —
REPORT



2018(平成30)年度 認定NPO法人アルテピアッツァびばい活動報告書

発行：認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

発行日：2019年5月31日

表紙写真：小川重雄

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

代表者 理事長 磯田憲一

理事 16名

監事 2名

スタッフ 常勤5名

沿革
 平成17(2005)年4月 設立総会
 平成17(2005)年8月 NPO法人認証
 平成18(2006)年4月 指定管理者制度により美唄市よりアルテピアッツァ美唄の管理運営を受託
 平成19(2007)年4月 カフェアルテ、スタジオアルテ(体験工房)オープン、運営受託
 平成19(2007)年4月 第1回安田侃の「ころを彫る授業」開催。以降、NPOスタッフが担当して毎月開催
 平成21(2009)年10月 北海道新聞北のみらい奨励賞受賞
 平成22(2010)年1月 平成21年度地域づくり総務大臣表彰受賞
 平成22(2010)年4月 アルテ市民ポポロ制度発足
 平成25(2013)年2月 北海道地域文化選奨、及び共同通信社地域再生大賞優秀賞 受賞
 平成26(2014)年2月 認定NPO法人に認定される
 平成30(2018)年1月 第5回エクセレントNPO大賞「市民賞」を受賞
 平成31(2019)年1月 認定NPO法人の有効期間更新

自然と彫刻が調和し、炭鉱のまち美唄の歴史の上に、新たな時を積み重ね、静かに自分と向き合えるアルテピアッツァ美唄。多くの人たちの思いが重なる場であることを実感しながら施設や作品の維持管理につとめ、地域と人、人と人を結ぶ芸術広場としてのありようを心に留めて事業を展開してまいりました。木造校舎、体育館の老朽化、設備の経年劣化など課題は山積していますが、設置者の美唄市と協働し、これまでに増して施設や作品の適切な維持管理につとめ、この先も変わらぬ存在としてあり続けるようNPOの取り組みに励んでまいります。

また、この場所の未来に心を寄せてご寄附をくださる多くの皆様が税制優遇を受けることのできる認定NPO法人に平成26(2014)年2月に認定され、当初の有効期限である5年目の今年、更に5年の延長ができませんでした。

理事長 磯田憲一

<認定NPO法人への寄附は税制優遇を受けられます>

(平成30年2月に認定NPO法人の有効期間が更新されました。)

認定NPO法人制度とは、<運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資する>として、「認定」を受けたNPO法人を支援する制度です。当法人を含む、認定NPO法人へ寄附をされると税制優遇のメリットがあります。(寄附金、団体会費が税法上の優遇措置の対象になり、アルテ市民ポポロ市民会費は対象になりません)

■認定NPO法人の税制優遇①

個人が認定NPO法人に寄附した場合・・・

→寄附金控除を受けられます。

寄附者が確定申告することによって、税金の還付を受けることができます。

(寄附金額－2,000円)×40%=減額

例：(20,000円－2,000円)×40%=7,200円の還付

※所得税40%、地方税10%、合計最大50%

■認定NPO法人の税制優遇②

法人が認定NPOに寄附した場合・・・

→損金算入限度額の枠が拡大されます。

■認定NPO法人の税制優遇③

相続人が認定NPOに寄附した場合・・・

→寄附をした相続財産が非課税になります。

<寄附でのご支援お待ちしております>

いただいたご寄附は、管理運営のために大切に使用させていただきます。郵便局に備え付けの「払込取扱票」で寄附が可能です。

郵便振替口座	02740-3-63900
加入者名	特定非営利活動法人アルテピアッツァびばい
※通信欄には「寄附」とご記入下さい。	

4

4/1-9/30 「インスタグラムフォトコンテスト【2018春夏】」

4/21 「クリーン会」開始

4/25-5/7 企画展「大理石が彫刻になるまで」

4/28 「定時ガイドツアー」開始

4/28 第12回「アルテ〇〇の学校」(万)(年)(筆)

5

5/18-20 「安田侃と行く高松の旅3日間」(JTB北海道企画・実施)

6/23 「ころころキャンドル作り」&

「ポポロミーティング&ポポロパーティ」

6/30 第29回「アルテの森語り」

7/6-8 「安田侃の『ころを彫る授業』」

7/8 「ころころキャンドル作り」

7/22 第13回「アルテ〇〇の学校」(イ)(ン)(タ)(ビ)(ユ)(ー)



8/11 「炭鉱映像館」

8/13 「アルテの盆踊り」

※雨天のためアートスペース(旧体育館)で開催

8/26 「てくてく美唄炭鉱-三井美唄編-」



9

9/1・2 「ナイトミュージアム」

9/23 第14回「アルテ〇〇の学校」(編)(集)

10/1-3/31 「インスタグラムフォトコンテスト【2018秋冬】」

10/21 「秋のポポロウォーキング」

11

11/11 第15回「アルテ〇〇の学校」(メ)(ガ)(ネ)

12

12/22 第30回「アルテの森語り」

2/9～17 「アーカイブ資料公開:旧校舎とアルテピアッツァ美唄」



3/30・31 「小学生のための『ころを彫る授業』」



1

2

3

5/18-20 「安田侃と行く高松の旅3日間」

香川県立ミュージアムで開催されていました「20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチ —彫刻から身体・庭へ—」の記念事業として企画された安田侃さんの講演会や「イサム・ノグチ庭園美術館」に行くツアーにアルテピアッツァ美唄スタッフも2名同行しました。

1日目:朝、北海道を出発し、午後には香川県高松市へ入りました。その日はフリーで、高松市内を散策する方、安田侃さんの作品がある直島へ行く方、ホテルでゆっくり休む方...それぞれに過ごしました。

2日目:「イサム・ノグチ庭園美術館」へ。安田侃さんも一緒に敷地内を巡りました。午後はツアーのメインである香川県立ミュージアムでの安田侃さんの講演会に参加しました。イサムさんとの出会いからはじまり、写真を交えながら、安田さんがイサムさんの作品制作に携わり、設置にも同行したヴェネツィア・ピエナーレのことなど、イサムさんの人柄がみえるようなお話を聞き、展覧会をより深く拝見することができました。

3日目:国の特別名勝に指定された日本庭園「栗林公園」を見学後、イサムさんと交友があった画家の美術館「丸亀市猪熊弦一郎現代美術館」も見学して、空港へ向かいました。

3日間、短い時間ではありましたが、安田侃さんのお話やイサムさんの作品のみならず、香川県ならではの芸術文化を存分に感じた旅でした。



アルテピアッツァ美唄を守る

○施設および環境の維持・管理・保全



自然と彫刻が調和する空間で来訪者の皆様に心地よく過ごしていただけるよう、園内のメンテナンスとして、春から秋にかけて屋外彫刻の清掃を毎日おこない、芝刈り、枝の剪定に努め、冬は園路や駐車場の除雪、屋根の雪下ろし作業をおこないました。11月からの積雪期には、屋外の大理石彫刻と一部のブロンズ彫刻には保護カバーをかけ、その他のブロンズ彫刻は、周辺と園路をつなぐように除雪して通路を確保し、近くでご覧いただ

けるようにしています。また、大理石作品を寒冷から守るため前年度より試行していた羊毛カバーが本格導入されました。

「水の広場」の流路・池の清掃は、4月から11月にかけて月に2回行いましたが、貯水タンクの止水栓バルブが故障するなど、給排水システムの経年劣化が顕在化しているほか、旧体育館や木造校舎の老朽化など日常の維持管理業務では対処できない課題が山積しており、施設設置者である美唄市との協

議をすすめています。

9月5日に接近した台風21号では、美唄での観測史上最大の瞬間風速を記録し、施設内で多くの倒木が発生したものの、幸い彫刻や建物への被害を免れました。早急に後片付けを行いました。翌6日未明には北海道胆振東部地震に見舞われました。美唄は震度4で彫刻作品は無事でしたが、全道的な停電のため3日間の臨時休館を余儀なくされました。

「彫刻作品の保存修復、最前線!？」

2018年秋、毎年イタリアで開かれる「保存修復学術研究会IGIIC(Gruppo Italiano dell'International Institute for Conservation)」にて、スタッフが安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄の作品維持管理の報告をしました。

アルテピアッツァ美唄の景観や作品維持

管理についての日常業務の報告に、みなさん大変興味をもって聞いてくださいました。

美術館でありながらも誰にでも開かれた場所であること、開かれた場所でありながらも、これだけの美しい景観や作品の状態が保たれていることに、大変驚かれていました。場のもつ美しさや、その景観を守る姿勢、何

○来訪者やお客様との対応

四季を通じて、道内外、海外から約26,000人の方が訪れました。冬期間は台湾からのツアーがたびたび立ち寄り雪に覆われた景観を楽しまれていました。町内会や学校単位の訪問も多く、希望される団体には施設の概要説明をさせていただき、アルテピ

アッツァ美唄への理解を深めていただけるよう努めました。

多くの方にお越しいただく一方で、他のお客様の鑑賞の妨げになる行為も少なからず目にします。「水の広場」がにぎわう夏の週末には、流路近くにスタッフが常駐し、この場所

がみんなの広場であることをご理解いただけるよう声をかけさせていただきました。すべてのお客様ひとりひとりにとって、過ごしやすい場所となるようご協力をお願いしております。

○コンサート・イベント・展覧会

ギャラリー(木造校舎2階)奥の2つの教室は、年間を通じて貸館として絵画やイラスト、陶芸、写真など発表の場としてご利用いただきました。アートスペース(旧体育館)は常設の彫刻作品展示空間ですが、コンサートや舞踏、演劇などの公演会場としても、ご利用いただいています。また、スタジオオ

アルテ(体験工房)は、「こころを彫る授業」の続きを彫る個人でのご利用のほか、講座やワークショップ、交流会、ライブなどの会場として、隣接するカフェアルテのサービスも併用するなど様々な形でご利用いただきました。



アルテピアッツァ美唄を楽しむ

○企画展



2018年度よりゴールデンウィーク期間中に当美術館の一部を紹介する企画展の開催を決め、「大理石が彫刻になるまで」展を4月25日から5月7日まで開催、1668名にお越しいただきました。

初めての企画展は、安田侃さんの彫刻の素材であるイタリアの白大理石にスポットを当て、何億年という長い年月をかけて地球がつくった大理石が、私たちが触れている彫刻になるまでの一端をご紹介します。

イタリアの壮大な石切り場やそこで働く石職人たちの様子、切り出された大理石にノミを振るう安田侃さんの姿など約30点の写真と映像、大理石に関する書籍などをご覧いただきました。

また、大理石の街イタリア・カッラーラにも住み、イタリアで彫刻の修復について勉強してきたスタッフによるギャラリートークも開催、37名の方が参加していただきました。

○体験工房スタジオアルテの活用(「こころを彫る授業」「アルテ○○の学校」など)

大理石等を素材に自分のこころのかたちを彫る「こころを彫る授業」も12年目に入りました。NPO法人の柱の事業でもあるため、札幌の地下歩行空間でのブース出展など、PR活動なども積極的に行いました。

7月に行われた、安田さんが直接指導する「安田侃の『こころを彫る授業』」は、不定期ということもあり約1年4ヶ月ぶりの開催となりました。待望していた方も多く、全国からのべ120名の方が参加していただきました。年に1度の「小学生のための『こころを彫る授業』」も7回目を開催。こちらも春休み定番のイベント

となり、2日間満員の、約30名の子どもたちが参加してくれました。

アルテピアッツァ美唄にゆかりのあるゲストの方をお迎えして、不定期に開催しています「アルテ○○の学校」、今年度は4月「万年筆」、7月「インタビュー」、9月「編集」、11月「メガネ」の全4回開催しました。

ポポロの方に限らず、幅広い層のお客さまにお越しいただき、「○○の学校」をきっかけに初めてアルテに足を運んでくださる方もいらっしゃいました。「誰もが参加できる小さな発見の場」というコンセプトとご縁を大切に

ながら、来年度も引き続き開催する予定です。



○アルテ文庫

ギャラリーに設置している、安田侃さんセレクトの書籍が並ぶ「アルテ文庫」。いただいたご寄付より、書籍を購入し、本棚が充実していきます。2018年は新たに6冊の書籍が増え、全部で236冊の書籍が並んでいます。

美唄出身の舞踊家・花柳鳴介氏によるロックと日本舞踊の競演イベント「VIVA逢フェスタNEXT—ONE」に出演していた聖飢魔IIの写真集は、美唄も撮影地になっています。

さまざまな書籍があり、他では見ることが出来ない貴重な本も多くありますので、お立ち寄りください。

○アーカイブ活動

毎年2月に開催していますアーカイブ資料公開では、「木造校舎の改修」をテーマにした展示を行いました。資料調査にあたり、当時改修設計を担当した方や美唄市の担当者、安田侃さんに聞き取りを行い、改修に関する図面や写真などもご提供いただきました。劣化が懸念されるネガフィルムについては、データ化する作業も行いました。

オープンからまもなく30年、物理的な資料はもちろんのこと、この空間を創り、守ってきた方々の想いを残すことの重要性を強く感じています。

○教育普及活動

子どもから大人まで、アルテピアッツァ美唄に親しんでもらい、彫刻や美術の楽しさを感じてもらえたら、と来訪者と作品の架け橋となる教育普及。毎週土曜日に午前10時より30分程度の「定時ガイドツアー」を4月から11月まで実施しました。初めて来訪された方や違う季節に来られたことのあるリピーターの方など、毎回数名で施設内を一緒に歩きます。

美術鑑賞コミュニケーターの方々との定期的なミーティングは今年度休止しましたが、「小学生のための『こころを彫る授業』」や視覚障がい者グループの鑑賞などの際にご協力をいただきました。

○炭山(やま)の記憶

アルテピアッツァ美唄では炭鉱町で過ごした人の故郷として、その記憶や思いを次の世代に語る場として、炭鉱の歴史を伝える活動をしています。

美唄に帰省される方の多いお盆の時期にギャラリーにて「炭鉱の写真展」を開催、往時の炭鉱地区の白地図を掲示し、思い出を地図に記入していただきました。「炭鉱映像館」では市内在住の金沢俊美さんのご協力で往時の貴重な映像を上映することができました。また、毎年8月13日にトリフォリオの広場で開催している「アルテの盆踊り」は、雨のためアートスペースでの開催となりました。この

○情報発信

印刷物としては、「Arte通信」Vol31、32を発行しました。いずれも、NPOスタッフが話し合い、内容構成やデザインを決めています。インターネットを活用した情報発信では、ホームページ、ブログ、フェイスブックの更新に加え、今年度は、アルテピアッツァ美唄の空間の魅力をより伝えられるツールとして、写真メインのSNSである「インスタグラム」の更新に力を入れました。アルテピアッツァ美唄の日々を伝える写真は、日本国内だけでなく、海外の方々からも人気です。また、ホームページのリニューアルにも着手しました。

日に灯すために、多くの皆さまに作っていただいた「こころキャンダル」は、9月1日に水の広場に灯しました。その他炭鉱で栄えた足跡を探る「てくてく美唄炭鉱」などを開催しました。



アルテピアッツァ美唄を未来へつなく

○アルテ市民ポポロ活動

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄を未来へ繋ぐ様々な活動しております。そのひとつが、イタリア語で「市民」を意味し、アルテピアッツァ美唄を次世代へ繋いでいく思いを共通項としたコミュニティの「アルテ市民ポポロ」です。個人または団体での来訪者には、専用のリーフレットをお渡しし、ガイドツアーなどの説明の機会をいただく際は、スタッフから直接、ポポロ参加へのご理解・ご協力のお話をさ

せていただくなど、新規ポポロを増やすよう努めました。

また、ポポロのみなさんには、NPO理事のインタビューやスタッフ便りなどの身近な記事が掲載された「ポポロだより」を年3回発行し、お届けいたしました。その他、市民証や安田侃さんからのメッセージ付きクリスマスカードはポポロの皆様にご送付しており、毎年楽しみにされている方も多くいらっしゃいます。



	アルテ市民 popolo	団体会員
内容	アルテピアッツァ美唄を次世代へつないでいく思いを共通項としたコミュニティ。	
会員になると	<ul style="list-style-type: none"> ●アルテ市民証が発行されます。 ●アルテ通信、popoloだよりが届き、アルテの現在（いま）を知ることができます。 ●ポポロミーティングで意見を述べたり、ポポロの催しに参加したりすることができます。 ●「ここを彫る授業」を1000円割引（継続参加は200円割引）で受けられます。 ●「安田侃の『ここを彫る授業』」など、不定期開催の主催イベントのお知らせが届きます。 	
金額	<ul style="list-style-type: none"> ●市民会費 ポポロ 3,000円 コポポロ（中学生以下） 500円 美唄ポポロ（美唄在住の方） 500円 ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●団体会費 団体会員 一口 30,000円 ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。
●団体会員	アーキサイトメビウス株式会社 有限会社東オートセンター いとろ写真 株式会社カンディハウス 株式会社カンディハウス札幌 株式会社岸本組 学校法人光塩学園 札幌アルト株式会社 札幌通運株式会社 株式会社三和重機 株式会社シー・アイ・エス計画研究所	主治医のような社会保険労務士法人 空知商工信用組合 玉田産業株式会社 宗教法人長延寺 医療法人トルチュ氏家記念こどもクリニック 医療法人はまなす 東戸公認会計士事務所 一般社団法人美唄市医師会 美唄市市議会議員会 株式会社美唄自動車学校 美唄市農業協同組合
		手打ちそば美唄匠の会 広瀬建設工業株式会社 弁護士法人ファースト&タンデムスプリント法律事務所 北星学園大学 北海道クリーン・システム株式会社 村松法律事務所 焼とりたつみ 山口物流株式会社 税理士法人TACS 有限会社TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE 他1社 (2019年3月31日現在)

○書籍・グッズ

書籍・グッズなどの販売事業は、アルテピアッツァ美唄を未来へ繋げる貴重な収入源となっています。

なかでも近年人気なのがクリアファイルです。アルテピアッツァ美唄の写真が大きくプリントしてあり、手頃な値段でお土産にちょうどいいと販売が好調です。また、2017年度、価格とサイズをリニューアルしたカレンダーは、札幌の大型書店や道内の美術館での委託販売が好調で、今年度も売り切れとなりました。



○カフェアルテの運営

今年度から、軽食メニューとしてイタリアのサンドイッチ「パニーノ」を始めました。パンは美唄にある石釜パンの「ストウブ」さんへお願いし、具材は美唄出身のイタリアンシェフが営む「オステリアパルコフィエラ」さんに手がけていただきました。かねてから要望があったため、販売数も好調です。カフェの売り上げ増を目指しつつも、訪れる方がゆっくりくつろげる空間をつくっていきます。



活動計算書(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

科目	金額	
I. 経常収益		
1. 受取会費		
ポポロ市民会費収益	1,428,000	
美唄ポポロ市民会費収益	66,000	
コポポロ市民会費収益	6,000	
会員会費収益	150,000	
団体会費収益	1,200,000	2,850,000
2. 受取寄附金		
募金箱寄附	1,982,250	
寄附金	1,551,730	
アルテ文庫寄附	50,661	3,584,641
3. 事業収益		
指定管理者事業収益	20,395,930	
工房活用事業収益	1,829,943	
教育普及事業収益	1,800	
広報事業収益	111,900	
炭山の記憶事業収益	75,250	
喫茶事業収益	8,858,165	
販売事業収益	3,177,402	
連携事業収益	2,035,302	
アルテ市民popolo事業収益	59,000	36,544,692
4. その他収益		
受取利息	141	141
経常収益計		42,979,474
II. 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費	17,532,028	
(2)その他経費	18,750,263	
事業費計		36,282,291
2. 管理費		
(1)人件費	33,709	
(2)その他経費	3,417,680	
管理費計		3,451,389
経常費用計		39,733,680
税引前当期経常増減額		3,245,794
法人税等		80,000
当期正味財産増減額		3,165,794
前期繰越正味財産額		11,094,259
次期繰越正味財産額		14,260,053

事業費・管理費 内訳

科目	指定管理	工房事業	アルテ文庫	教育普及	広報	アーカイブ	炭山の記憶	喫茶	販売	連携事業	アルテ市民	管理費	合計
(1) 人件費													
給与手当	9,793,370	986,589			493,293		256,698	4,114,947		150,284			15,795,181
福利厚生費	1,357,299	2,960			1,480		1,417	373,233		458		33,709	1,770,556
人件費計	11,150,669	989,549	0	0	494,773	0	258,115	4,488,180	0	150,742	0	33,709	17,565,737
(2) その他経費													
売上原価		219,081					100,257	2,796,475	1,236,097	189,000	35,135		4,576,045
業務委託費	3,275,763									419,123		1,825,887	5,520,773
諸謝金		47,348			16,200		46,648	54,691		80,396	2,100	8,400	255,783
印刷製本費		40,220			208,116	10,044	18,490				290,770	562,166	1,129,806
旅費交通費	27,300	9,910		3,420	112,590	5,640	4,920	3,160	3,980	244,440	600	92,340	508,300
通信費	207,214	54,689			118,326		2,100	130,053	94,193	205	325,267	108,602	1,040,649
消耗品費	682,672	35,184			93,204	14,007	7,051	524,868	94,016	63,492	6,347	323,397	1,844,238
修繕費	250,398												250,398
水道光熱費	4,709,424							282,215				72,014	5,063,653
地代家賃								120,000				215,000	335,000
賃借料													0
保険料	27,350	2,520					1,260	2,700		4,520	1,260		39,610
諸会費								1,000				23,000	24,000
研修費									1,000				1,000
慶弔費												48,840	48,840
租税公課	764,500	67,900			3,600		1,200	252,880	57,000	71,500	2,500	1,500	1,222,580
新聞図書費												3,456	3,456
広告宣伝費		15,000			8,000								23,000
支払報酬												97,200	97,200
会議費								1,400				7,400	8,800
交際費												7,354	7,354
雑費		11,410			1,132	1,400		15,617	68,921	1,242	46,612	21,124	167,458
その他経費計	9,944,621	503,262	0	3,420	561,168	31,091	183,326	4,183,659	1,555,207	1,073,918	710,591	3,417,680	22,167,943
費用計	21,095,290	1,492,811	0	3,420	1,055,941	31,091	441,441	8,671,839	1,555,207	1,224,660	710,591	3,451,389	39,733,680

※貸借対照表はホームページでご覧になれます。印刷したものが必要な方は事務局までご連絡ください。